

VENICE FILM FESTIVAL
OFFICIAL SELECTION
2025

ジョージ
クルーニー

アダム
サンドラー

ノア・バームバック 作品

ジェイ・ケリー

脚本 ノア・バームバック & エミリー・モーティマー
監督 ノア・バームバック

一部劇場にて 11月21日 (金)

NETFLIX

12月5日(金) 配信スタート

私の思い出はすべて映画だった——。

有名な映画俳優であるジェイ・ケリー（ジョージ・クルーニー）は、献身的なマネージャーであるロン（アダム・サンドラー）とともに、現在と過去の自分と向き合う旅に出る。ショービジネス界に身を捧げた人生の輝かしき栄光と後悔が錯綜する時を、感動とユーモアたっぷりに、ありのままに、そして細やかに描き出す——。

アカデミー賞ノミネート監督が ユーモアたっぷりに描く 映画スターの栄光と後悔



本作のメガホンを取るアカデミー賞ノミネート監督のノア・バームバックは、『イカとクジラ』や『マイヤーウィッツ家の人々』『マリッジ・ストーリー』などに至るまで、キャリアを通して「老い」という現実を見つめてきた。彼のフィルモグラフィーは、年を重ねて自らを見つめ直し、その結果、こじれた人間関係への向き合い方を改めるような人物像であふれている。

『ジェイ・ケリー』は、映画スターという感性豊かな人物の視点を通して、人の内面的変化という、非常に人間的なテーマに踏み込んでいる。私たちは皆、歳を重ね知恵を得るにつれて違う自分になるということだ。重要な瞬間に下す決断が、人生や人間関係の軌跡を形作っていく。その決断が後の人生において、自分自身や家族、友人に影響を与え、心が痛むことがあったとしても。

豪華スターの夢の共演

今も映画界で輝き続けるジョージ・クルーニーのキャリアにおいて、思慮深い演技を披露している本作。彼が培ってきた知恵と直感を駆使し、架空のキャラクター、ジェイ・ケリーという役柄に挑む。彼を支えるマネージャーのロン役は、クルーニーの長年の友人でもあるアダム・サンドラーが務め、息の合った駆け引きを繰り広げる。

その他にもローラ・ダーン、パトリック・ウィルソン、イヴ・ヒューソン、ジム・ブロードベント、グレッタ・ガーウィグら豪華キャストが脇を固める。素晴らしいアンサンブルキャストの見事な共鳴により『ジェイ・ケリー』は、映画スターであれ、どこにでもいる夢想家であれ、後悔を抱えた“今を生きる”人間の心に共感と感動を与えるのである。



監督：ノア・バームバック（『マリッジ・ストーリー』、『イカとクジラ』）

脚本：ノア・バームバック、エミリー・モーティマー

プロデューサー：デヴィッド・ハイマン、エイミー・パスカル、ノア・バームバック

キャスト：ジョージ・クルーニー、アダム・サンドラー、ローラ・ダーン、ビリー・クラダップ、ライリー・キーオ、グレイス・エドワーズ、ステイシー・キーチ、ジム・ブロードベント、パトリック・ウィルソン、イヴ・ヒューソン、グレッタ・ガーウィグ

2025年/アメリカ/英語/131分/ドルビーデジタル/ビスタサイズ/原題：Jay Kelly 公式HP：<https://cinemalineup2025.jp/>